

新旧対比表の抜粋見本

資料 1 / 公開例 A

変更する箇所と理由を読み、次頁の判断票で採否を回答するための見本です。第 18 条の一論点だけを抜粋しています。

あおばの丘マンション管理組合 架空設定

変更すること

現行の架空条文	見直し案の架空条文
共用集会室の利用を希望する者は、管理組合の窓口で利用申込みを行うものとする。	共用集会室の利用を希望する者は、管理組合の窓口又は管理組合が指定するオンライン窓口から利用申込みを行うものとする。

提案の目的

窓口での申込みを残したまま、オンラインからも申し込めるようにする案です。

確認する観点	この見本の架空設定
費用	既存の受付環境を使い、追加費用は発生しない設定。
担当	従来の受付担当が両方の申込を確認する設定。
住民への影響	オンラインを使わない方も、従来の窓口で申し込める設定。

見本の範囲

細則そのものの作成改定、システム導入、運用整備を含む見本ではありません。実案件では、これらの要否・費用・担当を別途確認します。

判断票の抜粋見本

資料 2 / 公開例 A

比較表を読んだあとに、理事会等が採用・不採用・保留と理由を回答するための見本です。ここは回答前の状態です。

判断すること

第 18 条の申込方法に「管理組合が指定するオンライン窓口」を加えるか。

項目	判断に必要な内容
変更目的	申込手段を増やし、従来窓口も残す。
判断前に確認すること	費用・担当・窓口併用の可否。この見本では前頁の架空設定として確認済み。
採否	☐ 採用 ☐ 不採用 ☐ 保留
理由	

回答の扱い

実際の判断は理事会等が行います。事実確認への回答、提案への採否回答、正式決議、納品物の検収はそれぞれ別です。

未回答の場合

無回答を採用・保留回答・正式承認・検収同意に置き換えません。選択や理由を補わず、未回答の状態を記録します。

採否回答記録の抜粋見本

資料 3 / 公開例 A

前頁の判断票に「採用」と回答があった架空設定です。受け取った採否と理由を残し、本文案への反映結果を確認します。

記録項目	受け取った回答と確認結果
対象	公開例 A / 第 18 条 共用集会室の利用申込み
採否	採用
回答理由	窓口を残しつつ申込手段を増やすため。既存担当が両方の申込を受け付け、追加費用は発生しないことを確認した設定。
反映する内容	窓口又は管理組合が指定するオンライン窓口から利用申込みを行える内容。
照合すること	回答した対象条文・現行版・採用内容の対応。
反映状況	確認した採用内容を、次頁の本文案へ反映。

この見本で確定していないこと

正式決議・実施日・検収は、この架空の採否回答からは導きません。本資料はサービスの資料構成を示すもので、実在する承認や納品実績ではありません。

不採用・明示保留・未回答は原則現行維持。未回答の新設案は追加しません。後日の回答・修正は合意条件に沿って扱います。

反映後の本文案の抜粋見本

資料 4 / 公開例 A

第 18 条だけの抜粋です。本文全文案の成果物全体を再現したものではありません。前頁で記録した採用内容との対応を示します。

あおばの丘マンション管理組合

管理規約 改定案

共用集会室の利用申込み

第 18 条 共用集会室の利用を希望する者は、管理組合の窓口又は管理組合が指定するオンライン窓口から利用申込みを行うものとする。

読み合わせる資料

変更の理由は資料 1、採否とその理由は資料 3 で確認します。本文案の中には説明や差分記号を混在させません。

資料	確認すること
新旧対比表	どこがどう変わるか。
判断票	何を判断し、どこへ回答するか。
採否回答記録	どの採否・理由を受け取り、何を反映したか。
反映後の本文案	回答に沿った内容が収録されているか。

実際のご依頼では

必要な納品物と対象範囲を見積時に合意します。概要書・運用影響資料は用途に応じて提案し、最初の見積総額に明記します。

架空例について

物件名、条番号、条文、費用・担当の条件、採否と理由はすべて説明用に作成した架空設定です。法令・標準管理規約・実顧客資料の引用はありません。